

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始いたしましたので、ご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

《受託開始日》 平成 14 年 2 月 4 日(月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	結核菌群抗原精密測定
検査コード	6353
検査材料	分離菌または菌株(菌株は新鮮分離株に限ります。)
保存条件	室温
実施料〔判断料〕	330点〔微生物・138点〕
所要日数	2～3日
検査方法	免疫クロマトグラフィー法

結核菌群抗原精密測定は、区分「D021」抗酸菌同定検査の「2」に準じて算定する。「D021」抗酸菌同定検査の「2」のその他の同定検査については、検査方法、培地数にかかわらず、1回のみ所定点数を算定する。

【臨床的意義】

結核菌群抗原精密測定検査(試薬名:『キャピリア®TB』)は、結核菌群が菌体外に分泌するタンパク質 MPB64(Mycobacterium protein fraction from BCG of Rm 0.64 in electrophoresis)を免疫クロマトグラフィー法で検出します。

従来、結核菌の同定に用いられてきたナイアシン産生試験や生化学的性状試験は、検査を行うために十分な菌量を必要とするため、結果が得られるまでに4～8週間かかっていました。しかし、本法は分離培養菌を用い、結核菌群の迅速同定が可能で、DNAプローブ法に匹敵する感度と特異性を備えています。また、液体培養MGIT法と併用することにより、最短2週間程度で同定することが可能となります。この組み合わせにより、結核症の早期診断、早期治療に大きく貢献できる試験結果をご報告できます。